

研修名 保育士研修A 「そだち」

平成27年6月12日（金）10:00～16:00

講演「憧れの保育士になって」

講師 大方 美香

## 1. 要約

- 1) 保育士は社会的責任がある仕事である。保育士は常に子どもの目線になり考えることが大事であり、子どもに必要な生きる力を提案していく必要がある。
- 2) 無意識から意識した保育にしていくこともとても重要である。それは、普段の立ち振る舞いや身なりも地域の先生としてみられているということであり、保護者も見ているということ。また、わからないのが当たり前の1年目は、気づきがとても大事で、わからないことはあやふやにするのではなく自ら聞きに行くことが必要。そして、一日の振り返りをし、改善できるポイントに気づくことができる変わっていくこともあるが、無意識でわかっているつもりが一番怖いことである。
- 3) 新しい一年の始まりである4月5月は子どもにとってはとても不安な時期である。その時期にいかにか子どもを理解し現状把握ができるか、信頼関係を作っていくのが大事であり、同じようにこの時期にいかにか保護者と話し情報を共有するかで今後が変わってくる。
- 4) 子どもにとっては保育園での生活が人生のすべてである。

## 2. 感想

今回の研修を通して、保育士としての意識が高まりました。保育士には社会的責任があると聞いたとき、背筋が伸びました。自分のやっている仕事の大事さがわかりました。子どもにとっての今しかない時期にどのように提案していけば自分の思う理念に近づくのか、大人目線だけではなく、子どもの目線になり考えることで子どもの姿は大きく変わるだろうと思いました。

保護者にとっては1年目もベテランも同じ先生であるため、常に自分は先生であることを意識することはもちろんですが、わからない質問があった時にはあやふやな回答をするのではなく、自分ではわからない（答えられない）ことを保護者に伝え、上の先生に聞き明確な答えを返せるようにすることで、誤答をすることなく保護者との信頼関係も作っていけると思いました。また、保育園での生活がすべての子どもの姿を迎えるの時間に伝えることで、保護者の方も安心して預けてもらえると感じました。

まだ1年目で慣れないこと、わからないことも多いですが、自分で積極的に聞きに行き、自分のできていない部分に気づきどうしていけばいいのか振り返り、改善していけるように頑張ろうと思いました。今回は、本当にありがとうございました。

( 記録 アスク向日保育園 堀川 明日香 )

